

職業実践専門課程の基本情報について

ホームページ	<a href="http://www.neec.ac.jp/">http://www.neec.ac.jp/</a>
--------	---

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

スポーツを通じて広く社会に貢献できる人材を育成するために、企業等と連携体制を確保して適宜ヒアリングを行い、指導者になるためのスキルの向上や、健康にかかわる栄養やメンタルに関することなどについて内容を検討し、カリキュラムに反映する。そのため、校内の実習設備や施設等を活用し、派遣された講師による年間を通じた定期的な指導や評価を受ける体制をとることが可能な企業等をスポーツ業界より選定している。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

教育課程編成委員会は、学校長を委員長とし、副校長、学科責任者、教育・学生支援部員、学科から委嘱された業界団体及び企業関係者から各3名以上を委員として構成する。  
本委員会は、産学連携による学科カリキュラム、本学生に対する講義科目および演習、実習、インターンシップおよび学内または学外研修、進級・卒業審査等に関する事項、自己点検・評価に関する事項、その他、企業・業界団体等が必要とする教育内容について審議する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成28年4月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
長畑 芳仁	NPO法人日本ストレッチング協会	H28年4月1日～H29年3月31日	①
夏刈 竜平	株式会社レテ	H28年4月1日～H29年3月31日	③
河合 雄	住友不動産エスフォルタ	H28年4月1日～H29年3月31日	③
山野 大星	日本工学院八王子専門学校 副校長	H28年4月1日～H29年3月31日	
中山 敬二	日本工学院八王子専門学校 カレッジ長	H28年4月1日～H29年3月31日	
三樹 春幸	日本工学院八王子専門学校 科長	H28年4月1日～H29年3月31日	
杉浦 晋	日本工学院八王子専門学校 主任	H28年4月1日～H29年3月31日	
荒井 哲子	日本工学院八王子専門学校 教育・学生支援	H28年4月1日～H29年3月31日	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

年2回開催

(開催日時)

第1回 平成28年3月8日 15:10～17:10

第2回 平成28年7月19日 16:00～18:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

基本方針に沿って、科目担当者へのフィードバックをし、適宜内容の見直しも実施。学校教員(専任・非常勤)へ講師連絡会等で周知し、科目内容・学生指導への参考としている。企業等を含む教育課程編成委員会において、MFCスタッフ研修等でのウェアラブルを使ったシステムなど最新技術や実践的な実習についての取組を今後も継続してほしいとの意見から、評価項目の見直し、教育設計図の達成目標等の再検討を行い、次年度の授業に反映させる。また、健康運動指導者試験や職業で必要となる最新の知識、技術、技能等を反映するため、フィットネス指導者の運動指導領域と健康運動領域の習得についても重点を置いた。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

フィットネスクラブで業務をするうえで必要な基礎知識を学ぶとともに実践的な指導を受けるために、連携企業が有しているトレーニング機器の効率的な使用方法、応用方法が学べる企業を選定している。また指導を受けるにあたっては各分野で必要となる知識、技術、制作管理能力を有している講師の派遣などの協力が得られることが可能な企業を選定している。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

スポーツのインストラクター・コーチングが実践できるよう、実技・実演を軸に学ぶ。ストレッチング、補強運動、フィットネストレーニング、筋力トレーニング(マシントレーニング)、整理体操などの基本テクニックについて学びながら、自らのトレーニングに対する取組や経験が指導者にとっては重要なので重点的に実施し、評価に換算する。  
また、安全に効果的な指導ができ、職業人としてあるまじき言葉使いや立ち振る舞い等の人間教育も含めて授業態度等も評価に含める。企業等の派遣講師による評価に基づき、教員が成績評価・単位認定を行う。

(3)具体的な連携の例

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
MFCスタッフ実習1	MFCを利用してトレーニングルームの運営方法やクライアントとの接し方、法的問題について学びます。	テクノジムジャパン株式会社

### 3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

#### (1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

講義と実習、演習の精度を高めるため、学科関連企業の協力のもと、企業等連携研修に関する規定における目的に沿い、学科の内容や教員のスキルに合わせた最新の技術力と技能、人間力を修得する。また、学校全体の教員研修を実施することにより、学生指導力の向上を図り、次年度へのカリキュラムや学科運営に反映させる。

#### (2)研修等の実績

##### ①専攻分野における実務に関する研修等

●平成28年3月15日9:00～12:00

[講師]テクノジムジャパン株式会社 藤野浩也・岡戸昌子

[内容]新規事業の事例から学ぶ

●平成28年8月21日10:00～12:00

[講師]株式会社ドリームビレッジ 村尾正彦

[内容]チームビルディング

##### ②指導力の修得・向上のための研修等

●平成28年3月15日14:00～17:00

[講師]トレンスアクト株式会社 前原恵子

[内容]学生・保護者との接し方、接遇とコミュニケーション力向上

#### (3)研修等の計画

##### ①専攻分野における実務に関する研修等

●平成29年3月頃

[講師]東急スポーツシステム株式会社 原田稔 ※予定

[内容]キャリアデザイン

●平成29年9月頃

[講師]NPO法人アイスフォゲルススポーツクラブ 原田直樹 [内容]インターンシップ・学外実習のための事前指導について ※予定

##### ②指導力の修得・向上のための研修等

●平成29年3月頃

[講師]株式会社ワークポート 梶川恭平 ※予定

[内容]企業が実践する就職相談のノウハウ

### 4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

#### (1)学校関係者評価の基本方針

専修学校における学校評価ガイドラインに沿っておこなうことを基本とし、自己評価の評価結果について、学校外の関係者による評価を行い、客観性や透明性を高める。

学校関係者評価委員会として卒業生や地域住民、高等学校教諭、専攻分野の関係団体の関係者等で学校関係者評価委員会を設置し、当該専攻分野における関係団体においては、実務に関する知見を生かして、教育目標や教育環境等について評価し、その評価結果を次年度の教育活動の改善の参考とし学校全体の専門性や指導力向上を図る。また、学校関係者への理解促進や連携協力により学校評価による改善策などを通じ、学校運営の改善の参考とする

#### (2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	(1)理念・目的・育人人材像
(2)学校運営	(2)運営方針(3)事業計画(4)運営組織(5)人事・給与制度(6)意思決定システム(7)情報システム
(3)教育活動	(8)目標の設定(9)教育方法・評価等(10)成績評価・単位認定等(11)資格・免許取得の指導体制(12)教員・教員組織
(4)学修成果	(13)就職率(14)資格・免許の取得率(15)卒業生の社会的評価
(5)学生支援	(16)就職等進路(17)中途退学への対応(18)学生相談(19)学生生活(20)保護者との連携(21)卒業生・社会人
(6)教育環境	(22)施設・設備等(23)学外実習・インターンシップ等(24)防災・安全管理
(7)学生の受入れ募集	(25)学生募集活動(26)入学選考(27)学納金
(8)財務	(28)財務基盤(29)予算・収支計画(30)監査(31)財務情報の公開
(9)法令等の遵守	(32)関連法令、設置基準等の遵守(33)個人情報保護(34)学校評価(35)教育情報の公開
(10)社会貢献・地域貢献	(36)社会貢献・地域貢献(37)ボランティア活動
(11)国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

#### (3)学校関係者評価結果の活用状況

教員からの一方向的な講義で知識を覚えるのではなく、学生たちが主体的に参加、仲間と深く考えながら課題を解決する力を養うのを目的としたグループワークなどを実施した方が良いと意見を受け、教員研修の実施や実習などを計画から実施するまでをグループで一貫して行い、作品は卒業制作展に出展するなど、今後の学生指導、カリキュラムの設定に反映させる。

## (4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成28年4月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
森 健介	順天堂大学 非常勤講師 (元白梅学園高等学校副校長)	平成28年4月1日～ 平成29年3月31日(1年)	学校関連
金子 英明	日本工学院八王子専門学校 校友会会長 (セントラルエンジニアリング株式会社 グループマネージャー)	平成28年4月1日～ 平成29年3月31日(1年)	卒業生/IT企業等委員
細谷 幸男	八王子商工会議所 事務局長	平成28年4月1日～ 平成29年3月31日(1年)	地域関連
北尾 雄一郎	ジェムドロップ株式会社 代表取締役	平成28年4月1日～ 平成29年3月31日(1年)	クリエイターズ企業等委員
今泉 裕人	一般社団法人コンサートプロモーターズ協会 事務局長	平成28年4月1日～ 平成29年3月31日(1年)	ミュージック企業等委員
古木 勝紀	株式会社バンパー 取締役	平成28年4月1日～ 平成29年3月31日(1年)	デザイン企業等委員
一瀬 康剛	株式会社アトム精密 代表取締役	平成28年4月1日～ 平成29年3月31日(1年)	テクノロジー企業等委員
長畑 芳仁	NPO法人日本ストレッチング協会 理事長	平成28年4月1日～ 平成29年3月31日(1年)	スポーツ企業等委員
石川 仁嗣	医療法人社団 健心会 みなみ野ハートクリニック 事務局長	平成28年4月1日～ 平成29年3月31日(1年)	医療企業等委員
榊原 直哉	八王子市私立保育園協会 (藤井保育園副園長)	平成28年7月1日～ 平成29年3月31日(9カ月)	医療・保育団体等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生、校長等

## (5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他( ) ) 平成28年9月12日

URL: <http://www.neec.ac.jp/announcement/17332/>

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

## (1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

教育目標や教育活動の計画、実績等について、企業や学生とその保護者に対し、必要な情報を提供して十分な説明を行うことにより、学校の指導方針や課題への対応方策等に関し、企業と教職員と学生や保護者との共通理解が深まり、学校が抱える課題・問題等に関する事項についても信頼関係を強めることにつながる。

また、私立学校の定めに基づき「財産目録」「貸借対照表」「収支計算書」「事業報告書」「監事による監査報告」の情報公開を実施している。公開に関する事務は、法人経理部において取扱い、「学校法人片柳学園 財務情報に関する書類閲覧内規」に基づいた運用を実施している。

## (2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校の現況、教育理念・目的・育成人材像、事業計画
(2) 各学科等の教育	目標の設定、教育方法・評価等、教員名簿
(3) 教職員	教員・教員組織
(4) キャリア教育・実践的職業教育	就職等進路、学外実習・インターンシップ等
(5) 様々な教育活動・教育環境	施設・設備等
(6) 学生の生活支援	中途退学への対応、学生相談
(7) 学生納付金・修学支援	学生生活、学納金
(8) 学校の財務	財務基盤、資金収支計算書、事業活動収支計算書
(9) 学校評価	学校評価、平成27年度の項目別の自己評価表
(10) 国際連携の状況	
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

## (3) 情報提供方法

URL: <http://www.neec.ac.jp/announcement/17073/>

## 授業科目等の概要

(芸術専門課程 スポーツ健康学科 パーソナルウェルネスインストラクターコース／スポーツインストラクターコース) 平成28年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			ビジネススキル1	社会人になるために必要なヒューマンスキルを身につけます。	1・前	30	2	○			○		○		
○			ビジネススキル2	社会人になるために必要なコミュニケーション能力などを身につけます。	1・後	30	2	○			○		○		
		○	MOS	マイクロソフト認定Word、Excel資格取得に向けて、必要な基礎知識を学びます。	1・後	30	1			○	○			○	
○			PC活用	コンピュータの仕組みから基本操作までを実習を通じて学びます。	1・前	30	1			○	○			○	
○			人材研修プログラム	前期期間中に、スポーツクラブ等の特別講師を招いて研修を行います。	1・前	15	1	○			○			○	
○			MFCスタッフ研修A	MFCを利用してトレーニングルームの運営方法やクライアントとの接し方、法的問題について学びます。	1・前	15	0			○	○			○	○
		○	予防とコンディショニング1	コンディショニングの把握・管理・方法と実際について学びます。また競技特性に応じたコンディショニングや、環境整備についても学びます。	1・前	30	1			○	○		○	○	
○			解剖学概論	骨格、筋肉、心臓、血管、呼吸器、神経、などの構造と機能について学びます。	1・前	30	2	○			○		○		
○			フィットネストレーニング1	スポーツクラブ等で必要とされるマシントレーニングについての知識、技術について学びます。	1・前	30	1			○	○		○	○	
○			フィットネストレーニング2		1・後	30	1			○	○		○	○	
○			トラベルツアー1	スポーツクラブ等で実施する各種イベントツアーを計画、実施するためのノウハウを学びます。	1・前	30	2	○			○			○	
○			トラベルツアー2		1・後	30	2	○			○			○	
		○	アウトドアフィットネス1	キャンパスを利用してアウトドアフィットネスについて学びます。	1・前	30	1			○	○			○	
		○	アウトドアフィットネス2		1・後	30	1			○	○			○	

		○	スイミングA	水泳の特性について理解し、レベル別に応じた的確な指導が行える能力を養います。	1・前	30	1			○	○		○	○	
		○	レクリエーションスポーツ	スポーツ指導の現場でのレクリエーションの考え方とさまざまな場面での運動方法を学びます。	1・前	30	1			○	○		○		
		○	球技	バレーボールやバスケットボールの特性について理解し、年齢別に応じた的確な指導が行える能力を養います。	1・前	30	1			○	○			○	
		○	陸上	陸上、ジョギング・ウォーキングの特性について理解し、年齢別に応じた的確な指導が行える能力を養います。	1・前	30	1			○	○			○	
○			スタジオプログラム1	スポーツクラブでは主流のスタジオプログラム。パワーヨガ、マットピラティスなどその種類は多種多様です。スタジオプログラムの主要な運動についての知識、技術について基礎を学びます。	1・前	30	1			○	○			○	
○			スタジオプログラム2		1・後	30	1			○	○			○	
○			ストレンクス&コンディショニング理論1	ストレンクス&コンディショニングプログラムを作成するための基礎知識を学びます（フィットネスエクササイズと安全も含む）。	1・前	30	2	○			○		○	○	
○			ストレンクス&コンディショニング理論2	目的に応じた、ストレンクス&コンディショニングプログラムを作成能力やカウンセリング能力を養います。	1・後	30	2	○			○		○	○	
○			ストレンクス&コンディショニング実技1	準備運動、ストレッチング、補強運動、フィッネストレーニング、筋力トレーニング（マシントレーニング）、整理体操などの基本テクニックについて学びます。	1・前	30	1			○	○		○	○	
○			ストレンクス&コンディショニング実技2	マシンやフリーウエイトを使用した筋力トレーニング、サーキットトレーニング、アジリティトレーニング、などの基本テクニックについて学びます。	1・後	30	1			○	○		○	○	
		○	中期インターンA	スポーツクラブ等で中期インターンシップを経験します。	1・前	30	1			○		○		○	
		○	フィンワーク実習	プールにて3点セット（マスク、フィン、スノーケル）を使用し、フィンワーク（泳ぎ方、素潜り）技術を養います。	1・前	30	1			○		○		○	
		○	スポーツ自由研究A	スポーツに関することを様々な角度から捉え、実態や動向を明確にしその意義・本質などを見極め理解を深めます。	1・前	30	1			○	○		○		
		○	スポーツ自由研究B		1・後	30	1			○	○		○		
		○	キャンプインストラクター実習A	総合的な自然体験である「キャンプ」の指導者として、キャンプの楽しさを多くの人へ伝えられるようにキャンプの基礎を学習します。	1・前	30	1			○		○		○	
		○	マリン実習A	レベルに応じたサーフィン・ボディボードの基本技能を理解します。	1・前	30	1			○		○		○	
		○	初級ダイビング実習	スクーバダイビング「オープンウォーター」資格取得の為に必要な知識技術について、講義と海洋実習を通じて学びます。	1・前	30	1			○		○		○	

		○	スノーケリング実習A	スノーケリング講習会等のアシスタントとして実習を行います。	1・前	30	1			○		○		○	
		○	短期海外研修A	アメリカの州立大学等において人体解剖、テーピング、コンディショニングなどの実習を体験し、最新のトレーナー教育についての理解を深めます。	1・前	60	2			○		○		○	
		○	アウトドア実習A	オートキャンプ、カヌー、トレッキング等のアウトドアライフの組立てについて実習を通じて学びます。	1・前	30	1			○		○		○	
		○	夏季ツアーイベントスタッフ演習	スポーツクラブ等で夏季に実施するイベントのスタッフとして演習形式で学びます。	1・前	30	1			○		○		○	
		○	MFCスタッフ実習1	MFC（メディカルフィットネスセンター）スタッフとしてトレーニング指導、スポーツクラブ運営などの実務経験を積んでいきます。	1・前	30	1			○	○		○		
		○	MFCスタッフ実習2		1・後	30	1			○	○		○		
○			ITC活用	SNSやブログを使用しての情報発信や、インターネットコミュニケーションの活用・マナーを学びます。	1・前	30	2	○			○		○	○	
		○	スポーツ医学概論	スポーツと健康、スポーツ活動中に多いケガや病気、アスリートの健康管理と内科的障害と対策、呼吸循環器系の働きとエネルギー供給、アンチドーピング、スポーツによる精神障害などについて学びます。	1・後	15	1	○			○			○	
		○	栄養学	スポーツと栄養、アスリートの栄養摂取と食生活について学びます。	1・後	15	1	○			○			○	
		○	トレーニング科学1	競技者育成と評価、競技者育成システムにおける指導計画、競技力向上のためのチームマネジメント、競技スポーツとIT、体力とは、トレーニングの進め方、トレーニングの種類について学びます。	1・後	15	1	○			○			○	
○			運動生理学	スポーツ活動と体力、運動体としての身体の構造と機能について学びます。	1・後	30	2	○			○			○	
○			トレーニングメニュー作成基礎1	クライアントに対するトレーニングメニュー作成方法について学びます。	1・後	15	1	○			○		○		
		○	体操	体操（マット運動、鉄棒、跳び箱）の基礎技術と指導法を学びます。	1・後	30	1			○	○			○	
○			メンタルスキル1	各種スポーツスキルの向上を目的として、メンタル面での指導スキルについて学びます。	1・後	15	1	○			○			○	
○			パフォーマンスマネジメント基礎	各種スポーツのパフォーマンス向上を目的としたスキルを学びます。	1・後	15	1	○			○			○	
○			スポーツ栄養1	各種スポーツスキルの向上を目的として、栄養面での指導スキルについて学びます。	1・後	15	1	○			○			○	
		○	訪問介護員講習	ホームヘルパー2級取得のための知識と技術を学びます。	1・後	150	5			○	○			○	

		○	スノーボード 実習A	レベルに応じたスノーボードの基本技能を理解します。レベル別バッチ検定を実施します。	1・ 後	30	1			○		○		○	
		○	スキー実習A	レベルに応じたスキーの基本技能を理解します。レベル別バッチ検定を実施します。	1・ 後	30	1			○		○		○	
		○	中級ダイビング実習	スクーバダイビング「アドバンスダイバー」資格取得の為に必要な知識技術について、講義と海洋実習を通じて学びます。	1・ 後	30	1			○		○		○	
		○	冬季ツアーイベントスタッフ演習	スポーツクラブ等で冬季に実施するイベントのスタッフとして演習形式で学びます。	1・ 後	30	1			○		○		○	
		○	パーソナル ウェルネス演習1	スポーツファッションやコーディネーションなどのアドバイスについて学びます。	1・ 後	30	1			○	○			○	
		○	日本赤十字社 救急法A	日本赤十字社の救急法に関する知識と技術について学びます。	1・ 通	30	1			○	○			○	
		○	スポーツ トレーニング実習A	メディカルフィットネスセンター等を週1回利用して、トレーニング実践方法について学びます。	1・ 通	60	2			○	○			○	
		○	スポーツ トレーニング実習B	メディカルフィットネスセンター等を週2回以上利用してトレーニング実践方法について学びます。	1・ 通	120	4			○	○			○	
		○	パーソナル フィットネス・ エディケーションA	健康維持増進を目的としたスポーツ・トレーニングの手法などをドリル形式において学びます。	1・ 通	60	4			○	○			○	
		○	パーソナル フィットネス・ エディケーションB		1・ 通	60	4			○	○			○	
		○	社会体育実習A	学外等において現場の実践的な経験を積み、指導者としての資質を高めます。	1・ 通	60	2			○		○		○	
		○	キャリアアップ セミナーA	メディカルフィットネスセンター等を週1回利用して、トレーニング実践方法について学びます。	1・ 通	15	0			○	○			○	
		○	キャリアアップ セミナーB	メディカルフィットネスセンター等を週2回以上利用してトレーニング実践方法について学びます。	1・ 通	30	1			○	○			○	
		○	キャリアアップ セミナーC	健康維持増進を目的としたスポーツ・トレーニングの手法などをドリル形式において学びます。	1・ 通	45	1			○	○			○	
		○	キャリアアップ セミナーD		1・ 通	60	2			○	○			○	
○			ビジネススキル3	社会人になるために必要なヒューマンスキル及びビジネス検定合格のためのスキルを身につけます。	2・ 前	30	2	○			○			○	
○			ビジネススキル4		2・ 後	30	2	○			○			○	
○			就活指導	就職活動に必要なスキルを学びます。	2・ 前	30	2	○			○			○	



○		フィットネス トレーニング3	幼児体育指導法に基づき、キッズスポーツについて の知識、技術について学びます。	2・ 前	30	1			○	○		○	○	
○		フィットネス トレーニング4	TRXトレーニングについての知識、技術について学 びます。	2・ 前	30	1			○	○		○	○	
○		フィットネス トレーニング5	ファンクショナル・ムーブメント・スクリーンテ ストについての知識、技術について学びます。	2・ 前	30	1			○	○		○	○	
○		フィットネス トレーニング6	中高年を対象として個人の特性に応じた的確な運 動指導が行える能力を養います。(財)日本スポー ツクラブ協会の「中高老年期運動指導士」の取得 を目指します。	2・ 前	30	1			○	○		○		
○		フィットネス トレーニング7	幼児体育指導法に基づき、キッズスポーツについ ての知識、技術について学びます。	2・ 後	30	1			○	○		○		
○		フィットネス トレーニング8	TRXトレーニングについての知識、技術について学 びます。	2・ 後	30	1			○	○		○	○	
○		フィットネス トレーニング9	ファンクショナル・ムーブメント・スクリーンテ ストについての知識、技術について学びます。	2・ 後	30	1			○	○		○	○	
○		フィットネス トレーニング10	中高年を対象として個人の特性に応じた的確な運 動指導が行える能力を養います。(財)日本スポー ツクラブ協会の「中高老年期運動指導士」の取得 を目指します。	2・ 後	30	1			○	○		○		
○		スタジオプログ ラム3	スポーツクラブでは主流のスタジオプログラム。 パワーヨガ、マットピラティスなどその種類は多 種多様です。スタジオプログラムの主要な運動に ついての知識、技術について基礎を学びます。	2・ 前	30	1			○	○		○		
○		スタジオプログ ラム4		2・ 後	30	1			○	○		○		
○		パーソナルト レーニング指 導1	パーソナルトレーニングについての知識、技術、 指導法について学びます。	2・ 前	30	1			○	○		○		
○		パーソナルト レーニング指 導2		2・ 後	30	1			○	○		○		
○		リラクゼーショ ン1	トレーニング・運動後のリラクゼーションをはじ めとするボディケアについて知識と技術を学びま す。	2・ 前	30	1			○	○		○		
○		リラクゼーショ ン2		2・ 後	30	1			○	○		○		
○		トレーニングメ ニュー作成基 礎2	クライアントに対するトレーニングメニュー作成 方法について学びます。	2・ 前	15	1	○		○		○			
○		メンタルスキル 2	各種スポーツスキルの向上を目的として、メンタ ル面での指導スキルについて学びます。	2・ 前	15	1	○		○			○		
○		パフォーマンス マネジメント実 習	パフォーマンスマネジメント基礎で学んだスキル を基に、指導実践方法について学びます。	2・ 前	30	1			○	○		○		

○		スポーツ栄養2	各種スポーツスキルの向上を目的として、栄養面での指導スキルについて学びます。	2・前	15	1			○	○			○	
		○ 健康運動実践指導者対策1	健康運動実践指導者資格取得のための知識・技術を学びます。	2・前	30	2			○	○		○		
		○ 健康運動実践指導者対策2		2・後	30	2			○	○		○		
		○ 体力測定法	体力測定の方法、測定結果の処理、体力評価とスポーツプログラムについて学びます。	2・前	15	1	○			○			○	
		○ 健康教育学	発育発達期の身体的特徴、心理的特徴、発育発達期に多いケガや病気、発育発達期のプログラムなどについて学びます。	2・前	15	1	○			○			○	
		○ 社会体育概論	スポーツとは、文化としてのスポーツ、社会の中のスポーツ、障害者とスポーツについて学びます。	2・前	15	1	○			○			○	
		○ スポーツ心理学	スポーツと心、スポーツにおける動機づけ、コーチングの心理、メンタルマネジメント、指導者のメンタルマネジメント、スポーツ相談の意義、スポーツ相談の実際、子どもたちを取り巻く問題点と運動・スポーツの必要性などについて学びます。	2・前	30	2	○			○			○	
		○ スポーツ経営学	スポーツ組織の運営、スポーツ事業の計画・運営・評価、地域スポーツクラブの機能と役割、広域スポーツセンターの機能と役割、地域におけるスポーツ振興方策と行政のかかわり、我が国のスポーツ振興施策について学びます。	2・前	15	1	○			○			○	
		○ エアロビク1	エアロビクダンス技能検定初級レベルの技術の修得とエアロビクダンスの特性について学びます。	2・前	30	1			○	○			○	
		○ エアロビク2	技能検定5級を目指し、技能検定員の資格取得も目指します。	2・後	30	1			○	○			○	
		○ スイミングB	基本的泳力は個人的に習得、フォームの矯正を行い、模範となる泳法の習得、横泳ぎを習得する、集団・個人の指導法の実習、指導計画の立案評価、心肺蘇生法について学びます。	2・前	45	1			○	○			○	
		○ 短期海外研修B	アメリカの州立大学等において人体解剖、テーピング、コンディショニングなどの実習を体験し、最新のトレーナー教育についての理解を深めます。	2・前	60	2			○		○		○	
		○ キャンプインストラクター実習B	総合的な自然体験である「キャンプ」の指導者として、キャンプの楽しさを多くの人へ伝えられるようにキャンプの基礎を学習します。	2・前	30	1			○		○		○	
		○ マリン実習B	レベルに応じたサーフィン・ボディボードの基本技能を理解します。	2・前	30	1			○		○		○	
		○ 上級ダイビング実習	スクーバダイビング「ダイブマスター」資格取得の為に必要な知識技術について、講義と海洋実習を通じて学びます。	2・前	30	1			○		○		○	

		○	アウトドア実習B	オートキャンプ、カヌー、トレッキング等のアウトドアライフの組立てについて実習を通じて学びます。	2・前	30	1			○		○		○	
		○	スノーケリング実習B	スノーケリング講習会等のアシスタントとして実習を行います。	2・前	30	1			○		○		○	
		○	MFCスタッフ実習3	MFC（メディカルフィットネスセンター）スタッフとしてトレーニング指導、スポーツクラブ運営などの実務経験を積んでいきます。	2・前	30	1			○	○		○		
		○	MFCスタッフ実習4		2・後	30	1			○	○		○		
		○	パーソナルウェルネス演習2	クライアント個々に対する運動指導を総合的に行う方法を学びます。	2・前	30	1			○	○			○	
		○	パーソナルウェルネス演習3		2・通	30	1			○	○			○	
		○	運動処方実習	メディカルチェックとしての問診、血液・尿検査、安静時心電図、運動負荷、心エコー図等の基本、フィットネスプログラム（子供、壮年、中年、高齢者、女性、障害者）の基本的方法について学びます。	2・後	30	1			○	○			○	
○			MFC管理運営実習	MFCを利用してトレーニングルームの運営方法やクライアントとの接し方、法的問題について学びます。	2・後	15	0			○	○		○	○	
		○	潜水土	ダイビングを職業として考えるのに絶対必要な国家資格である潜水土取得のための知識を学びます。	2・後	30	2	○			○			○	
		○	中期インターンB	スポーツクラブ等で中期インターンシップを経験します。	2・後	30	1			○		○		○	
		○	スキー実習B	レベルに応じたスキーの基本技能を理解します。レベル別バッチテストを実施します。	2・後	30	1			○		○		○	
		○	スノーボード実習B	レベルに応じたスノーボードの基本技能を理解します。レベル別バッチ検定を実施します。	2・後	30	1			○		○		○	
		○	スポーツコーチングインターン	スポーツコーチングの現場でインターンシップ活動を行います。	2・後	15	0			○		○		○	
		○	日本赤十字社救急法B	日本赤十字社の救急法に関する知識と技術について学びます。	2・通	30	1			○	○			○	
		○	スポーツトレーニング実習C	メディカルフィットネスセンター等を週1回利用して、トレーニング実践方法について学びます。	2・通	60	2			○	○		○		
		○	スポーツトレーニング実習D	メディカルフィットネスセンター等を週2回以上利用してトレーニング実践方法について学びます。	2・通	120	4			○	○		○		
		○	成果発表	卒業展の企画・準備・運営を実施します。	2・通	60	2			○	○	○	○		

		○	パーソナルフィットネス・エディケーションC	健康維持増進を目的としたスポーツ・トレーニングの手法などをドリル形式において学びます。	2・通	60	4			○	○		○		
		○	パーソナルフィットネス・エディケーションD		2・通	60	4			○	○		○		
		○	社会体育実習B	学外等において現場の実践的な経験を積み、指導者としての資質を高めます。	2・通	60	2			○		○		○	
		○	キャリアアップセミナーE	キネシオテーピングやストレッチングトレーナーなどの短期講座を受講して資格取得を目指します。	2・通	15	0			○	○			○	
		○	キャリアアップセミナーF		2・通	30	1			○	○			○	
		○	キャリアアップセミナーG		2・通	45	1			○	○			○	
		○	キャリアアップセミナーH		2・通	60	2			○	○			○	
合計				112 科目	4095 単位時間( 164単位)										

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業時に必修科目間1170時間(53単位)、選択科目530時間(18単位)合計1,700時間(71単位)取得すること。		1 学年の学期区分	2 期
		1 学期の授業期間	15 週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。